

科目名	健康生活看護学(成人概論)			ナンバリング	PEN231	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	前期前半	科目分類	必修	単位数	1 単位
代表教員	狩谷恭子	担当教員					

授業の概要	生活者としての人間について、生涯の連続性の上でとらえる発達段階的特徴とそれに伴う健康課題を把握するとともに、対象理解および看護援助のための理論と援助方法について学修する。ここでは、小児期を経てきた存在、老年期に向かう存在としての成人について、その発達段階的特徴と健康課題について病態生理学や疾病論に基づいて論理的・科学的にとらえるとともに、健康障がい有する対象理解の仕方、病期や治療法および発達段階に適した看護援助の方法について具体的に学ぶ。						
到達目標	1. 成人のライフスタイルとストレスおよび生活習慣との関連で発生するメカニズムを人体の構造と機能と関連づけて記述できる。 2. 生活習慣との関連で発生する健康障害の予防策および看護援助について記述できる。 3. 成人への看護に有用な概念を健康障害をもつ患者の看護援助に関づけて記述できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	予習(資料の閲覧)と復習(レポート作成)を必ず行うこと。予習と復習それぞれおおよそ90分の学習時間を確保すること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	○	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
生活者としての人間について生涯の連続性の上でとらえる発達段階的特徴とそれに伴う健康問題を把握するとともに対象理解および看護援助のための理論と援助方法について説明できる。	生活者としての人間について生涯の連続性の上でとらえる発達段階的特徴とそれに伴う健康問題を把握するとともに対象理解および看護援助のための理論と援助方法および成人の健康的特徴と健康問題について病態生理学や疾病論に基づいて論理的科学的に説明し、健康障害を有する対象理解の仕方や病期や治療法および発達段階に適した看護援助の方法を実施できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					90%
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		10%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	1. 授業内レポートおよび試験の解答用紙は原則返却しない。レポートや試験に関する内容については、個別に指導を希望する学生には対応する。 2. 期末試験の成績は学生からの希望があれば、期間を設けて開示する。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	成人期にみられる健康障害(1)	生活習慣および職業に関連する健康障害について説明する。	
	第2回	成人期にみられる健康障害(2)	生活とストレスおよびセクシュアリティに関連する健康障害について説明する。	
	第3回	成人期にみられる健康障害(3)	余暇活動および更年期にみられる健康障害について説明する。	
	第4回	成人の看護に有用な概念と看護(1)	病みの軌跡という考え方, およびセルフケアについて説明する。	
	第5回	成人の看護に有用な概念と看護(2)	ストレスと危機および適応について説明する。	
	第6回	成人の看護に有用な概念と看護(3)	行動変容のための自己効力と、自己効力に関連した概念について説明する。	
	第7回	成人の看護に有用な概念と看護(4)	ヘルスプロモーションの理念が成人の理解と看護に有用であることを説明する。	
	第8回	まとめ	生活者としての成人について、生涯の連続性の上でとらえる発達段階的特徴とそれに伴う健康障害と看護の視点についてまとめるを行う。	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	期末試験を実施する。		
授業の進め方		講義・質疑応答による授業内容を理解し、課題や状況設定に基づく演習を行い、各授業毎の課題レポートを作成する。		
授業外学習の指示		復習のためのレポートと、当該授業の理解を促すための事前学習を提示する場合がある。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	ナーシング・グラフィカ 成人看護学概論
参考書	授業の中で指示する
参考URLなど	授業の中で指示する
その他	